

小高中学校2学年保護者・有志会 ふれあい懇談会会議録 (第3回)

開催日 平成 27 年 10 月 20 日(火)
19 時 00 分から

開催地 道の駅 南相馬 ホール

参加者 20名 保護者 14名

【質疑】

質問1： P T A会長、役員、校長先生とは、2学期から再開する時期について、事前に何回か協議はされていたのか。

回答1： P T A役員さんとは、26年の7月に色んな意見を伺ったのですが、何もたたき台がない中では、話し合いにならないということもありましたので、会長さんと副会長さんに音頭をとっていただいて、保護者の皆様から色んな意見を聞いていただき、それを集約する形で会議に持ってきていただけないか話をしましたが、避難の状況や非常にデリケートな問題でもありますので、それは出来ないという話がありました。それでは、保護者の皆様に対して、教育委員会から学校を通してアンケート調査をすることになりました。27年2月には、再開時期の考え方などについても話をしましたが、その時には具体的な再開時期は話をしておりません。その当時、小高工業と商業が29年4月からという報告がありましたので、そのような考え方もあるのではないかととも言われましたが、環境が整ったという段階であれば、仮設は環境的に悪いので、それを早目に改善したいという思いから年度途中での再開もありますという話をしました。

質問2： 新聞報道で2学期から再開というものについて、P T A役員や校長先生に聞いた時には、その報道が出るまでは何も知らされていないと聞いたが、それは嘘なのか。

回答2： 教育委員会の決定を受けて学校の校長先生方にお話をした経過はありますが、議会で一般質問もあったことから答弁をした結果、マスコミでそのような発表になりました。

質問3： 64人が帰るとアンケートで答えているが、これは何人中64人なのか。

回答3： 在籍の保護者が208人おりました、そのうち185人から回答がありました。区域外の保護者519人にもアンケートをお願いして、268人から回答がありました。

質問4： 64人は少ないと思う。これで、皆帰りたいのかとは思わないし理解出来ない。

回答4： 現在、小高区の小学校、中学校の在籍は3割となっています。小中学校合わせると230人位おりますので、多いか少ないかという見解が分かれると思います。

質問5： 子供たちの意見も聞いていただきたい。2学期に移るといって、やっぱり受験関係があるので卒業まで仮設に居させてほしいというのが聞こえてくるが、3年生卒業までは出来ないのか。

回答5： PTA役員との話の中でも、子供の意見は聞かないのですかと質問がありました。大人の都合と言われるかもしれませんが、帰る時期や運営方法を大人の判断で示すべきではないかと話しました。

質問6： 子供の学習環境を整えるために本校に帰るとの話だが、子供たちは帰りたくないと言っているのに帰すのか。それが学習環境を整えることになるのか。

回答6： 今の仮設が4年半過ぎておりますので、限界にきている状況です。そういった中で、本校舎があり修繕や整備をして何とか本校舎で学校が再開できる状態になった時に、そのまま仮設で過ごさせることはどうなのかと思います。

質問7： たった半年を仮設校舎で過ごさせることは出来ないのか。

回答7： 例えば29年4月になった場合、また新しい3年生は同じような事が起きるのではないかと思います。同じ南相馬市内の仮設から本校舎へ移動するために、ケアや交通手段など取り組んでいる状況ですので、ご理解いただきたいと思います。

質問8： 本校舎に戻ることが良いことだと思えない原因の一つに、震災後の子供たちの心のケアがある。小高で震災にあっているの、2学期に戻ったことによって子供たちの気持ち的な問題に影響がでるのではないかと

心配だ。それが中学3年生なので、受験にも影響されると思うが、それは考えてくれないのか。例えば、徐々に戻す考え方は出来ないのか。年間を通して、調理実習やプールの時は戻していく、慣らしていくことを踏まえて戻すことにならないのか。

回答8： そういうことも考えています。4月から仮設校舎が始まりますが、28年度になれば、その折々本校舎で授業をしながら慣らして2学期からスタートと考えています。

質問9： 慣らす期間は、1学期の期間で十分か。

回答9： 2学期からと考えると、3ヶ月間ありますので、その中で出来る限り取り組んでいきたいと考えています。

質問10： 今も学校への移動だけで時間を取られている状況で、また皆で移動というのはどうなのか。また、防犯上安全だと思えない。何かあってからでは遅い。

回答10： 家庭から学校まで行く間の安全、学校生活をしている中での安全、それはしっかりと対応していきます。

質問11： 安全の対応とは、環境省に言うということか。

回答11： 不審者の対応については、作業員であれば雇用している事業所に発注している環境省から強く言っていただきます。小高区に限ったことではありませんが、南相馬市全体作業している地域は同じだと思いますが、安全の確保について、子供たちに常日頃気をつけるように家庭の中でもお話いただきたいと思います。

質問12： アンケートの結果で話をしているが、4月の時点で実際にどれくらい帰ってきていて、どれくらいまちなかに住んでいる家があるのか、はっきり分かった時点での決定にはならなかったのか。学校があるから、もったいないから戻すことではない。

回答12： 27年1月のアンケート結果で、すぐ戻るという方が50パーセントいます。地域コミュニティが出来上がったら帰るとなると難しいと思います。

質問 1 3 : 檜葉町は 2 9 年 4 月から学校再開となっている。それは、皆が戻ってきて安全が確保され子供たちも帰っていいですよと、多分そういう意味で設定されていると思うが、なぜ南相馬市はそれが出来ないのか。

回答 1 3 : 檜葉町でもアンケートはとっています。2 8 年度に学校が再開したら帰る方が 2 3 人で、2 9 年度であれば 3 6 人です。数は少ないですが、1 3 人増えるということで 2 9 年 4 月に再開としております。迷っている方は 4 6 人と多く、全体で 1 6 パーセントになります。数字で言うと捉え方も違うと思いますが、それで時期を決定した経過があります。

質問 1 4 : 市長から、決定したことを報告する場ではないとあったが、教育委員会の見解はどうか。

回答 1 4 : 必ずしも、これが決定ではありません。来年の 4 月に避難指示解除があり、次に学校の再開を 2 学期とする目標を基本方針としながら、皆様に説明したものです。

質問 1 5 : 2 学期の再開は決定ではないが目標にはなっている。その目標がある時点で不安になり納得もしない。

回答 1 5 : 2 8 年 4 月に避難指示が解除された場合に、徐々に帰還すると思います。地域のコミュニティが醸成され今までの体制になったら学校を再開するとした場合、それはいつ頃の時期を想定しているのですか。反対に聞いて申し訳ありません。

【上記回答】

それは、人其々で、下に子供がいるのですぐにとは言えない。様子を見たい。戻る人が沢山いたとしても、年齢層が違ったりすると考えてしまう。

質問 1 6 : 檜葉町は全ての除染が終わっていて、それからの避難解除だったと思う。その後の意向調査で 2 0 数名から 3 0 数名に増えていったとすれば、今現在、学校再開の目標時期はあるが、小高区はいつ除染が終わるか分からない、解除がいつになるか分からない中、4 月から小高に戻るか、どこの学校に行くのか聞かれたら、意向調査では普通に小高と記入する。それが、我々の本校再開の時期に賛成意見と思われるのは、非常に嫌だ。このことについて、どう思われるか。

回答 1 6 : 除染は、来年 3 月までには生活圏は終わる回答を得て、目標を決めまし

た。分からないと言われても、色んな手段を使って伝えておりますので理解していただきたいと思います。

質問 17 : 農地の除染は、いつ終わるのか。

回答 17 : 28年度で終わります。

質問 18 : 農地除染が終わらないうちに学校が再開する。同じ20キロ圏内で、楢葉町と小高区の判断基準の違いは何なのか。

回答 18 : 解除目標については、国と市の話合いの中で生活圏は27年度で終わることを聞いています。農地除染も全然やってないわけではなく、線量が高い西部地区でやっている所もあります。

質問 19 : 全部の除染が終わらない中で、一番弱者である小中学生を来年の2学期から戻すのか。

回答 19 : 学校関係については、除染も終わっています。これらの教育環境が整った時点で、再開する時期を2学期からとしています。

質問 20 : なぜ、2学期から再開なのか。その時期じゃないといけない理由は何なのか。

回答 20 : 仮設校舎の現状について現場の校長先生から伺いますと、大変厳しい状況にあると聞いております。当初から、仮設なので夏は暑く冬は寒い状況です。特別教室である実験室や音楽室は、本来あるべき教育環境と比較すると劣っている部分がありますので、解除後大きく遅れない時期にと考えております。今、仮設校舎に通っている児童数を分母にして考えた時、64名の方が解除後に小高に住むという方々に、義務教育を携わる教育委員会として、目標どおり解除後1年間小高から鹿島の仮設校舎に通わせるのはどうなのか考えた時に、小高に住む方がいる限り学校は地域の核になりますので、そこで教育環境を整えるべきと考えております。解除と同時再開にはアンケートでも消極的でありましたので、協議の中で2学期が一番良いのではないかという経過があります。

質問 21 : 学校の設備だけを整えても、外には知らない人が沢山いる。除染の袋もいっぱいある。それは、学校だけを整えても意味がないのでないか。

回答 2 1 : これは、強制的なものではありません。安心して住める状況が確立されて、始めて解除となります。国との折衝の中でも、除染が進み子供や全ての方々が安心して住める環境を整えることが前提になっておりますので、学校だけ開けても良いという問題ではありません。

質問 2 2 : 学校の屋根の上の除染はやっているのか。20キロ圏内は、国の方針で屋根やベランダを除染出来ないと聞いている。先生からも学校の屋根はしていないと聞いている。

回答 2 2 : 国に確認しており間違いありませんが、屋根も屋上も全て除染は終わっております。

初めて聞いた話ですが、学校の先生が確認もせずそのようなことを言うのでしょうか。除染対策課から国に対して確認させて学校の環境を整えておりますので、先生が確認してそう言っているのであれば、かなり誤解があります。

質問 2 3 : この場では、学校の再開時期を遅らせることを考えるという言葉はいただけないのか。

回答 2 3 : 10月1日に、皆様にご説明を申し上げて市の方針を示しました。それを受けての意向調査をお願いしております。その意向調査の結果を踏まえて、変更があれば説明会や意見交換をさせていただきます。今、この時点で来年の2学期からの変更を言及することは、控えさせていただきます。

質問 2 4 : 意向調査の件だが、現時点での意向調査だとイエスとノーの2択しかない。帰りたいが、今はまだという方は、答えようがない。もう一度、再開時期はいつが良いか、何項目か設けていただいて再調査出来ないか。

回答 2 4 : 2者択一ではなく、微妙な所で印を付けたが、気持ちの裏で心配事があれば、空いている所に書いていただければ、全部の学校からコピーを教育委員会で預かりチェックさせていただきます。

質問 2 5 : 市では今後、双葉郡内の除染作業や廃炉作業の作業員・仮設宿舎を南相馬市内に受け入れていくのでしょうか。

回答 2 5 : 我々の方で作業員宿舎を作って良いとか悪いとかではなく、民民の契約で作業員宿舎を建てているのが実態です。双葉町や浪江町に行く作業員

宿舎や飯舘村に行く作業員宿舎が、市内にあるのは実情です。受け入れることについては、民民の契約に規制することが出来ないことは、ご理解ください。そこで、建てるにあたり行政区の区長さんに了解をもらうことや我々が行政区長さんと作業員宿舎を建てる事業者と三者で協定を結び、作業員が防犯や安全対策に協力する内容を協定書に盛り込んで調印することを進めています。色んな事業者がいますが、市と警察と事業者で安全に係る連絡協議会を作っておりまして、交通安全と防犯の問題の二つを作っており、指導を徹底していただくことをお願いしている。

質問 2 6 : 防犯カメラの設置を考えていると聞いたが、小高区内に何箇所あって、それを何箇所位増やす予定なのか数字があったら教えてほしい。

回答 2 6 : 現時点で、防犯上の問題から警察署が発表していない箇所が多いです。市が設置する防犯カメラについては、議会の了解を得て、新たに避難指示区域内に 1 9 箇所設置します。これも警察署と協議の中で、一番有効性のある所に設置しますが、事業者で付けているものや警察の公安委員会で設置しているものもありますので、公表はしておりません。

質問 2 7 : 説明会時に報道が先行したことについて謝罪がありましたが、今後、子供たちや保護者、第三者の声を聞きながら検討や協議をして結論を出すならば、再開時期の再検討を公に発信出来ないか。

回答 2 7 : 来年の 2 学期再開を目標として、皆様のご意見をお伺いしております。今の時点で再検討を言及することは、控えさせていただきます。

質問 2 8 : 再検討するつもりもないのか。

回答 2 8 : 意向調査の結果を踏まえながら、検討する必要があると出れば、その時には、再検討します。

質問 2 9 : 今の意向調査に再検討の案は全くなかったと思うが、今回の結果だけで出しては、再検討してもらふ余地は全くないと感じる。別な形で何か調査していただけるのか。

回答 2 9 : 今の考えをご回答いただき、それを踏まえて皆様のご意見を集約して、なお再検討の必要がある時には、皆様にご協力をいただきながら進めてまいります。

質問30：どうすれば、再検討してもらえるのか。

回答30：本日は、小高中学校2学年の保護者の皆様との意見交換でありますので、意向調査の集計をして内容を見させていただきます。

質問31：もちろん本校舎に、いつかは戻らないといけないと思う。4月から慣らして、夏の3ヶ月で戻すのはもってのほかだと思う。例えば、2学期から本校の準備が出来るのであれば、2学期から慣らしを始めて、1年かけてゆっくり慣らすことは出来ないのか。子供たちの事を最優先に考えてくれるのであれば、それがベストだと思うが、どうか。

回答31：今後、総合教育会議という形で会議に入りますので、そこで皆様の意見は申し上げてまいります。だからこそ、再検討の議論だけではなく、どういうあり方が一番良いのかという意見を出していただきたいと思っております。

質問32：子供の意見を書ける欄を設けて、アンケートの取り直しは出来ないのか。

回答32：子供の意見であれば、学校で取ってよろしいのではないですか。学校で子供に渡して書いてもらうことでは不足するのでしょうか。

【上記回答】

そういうわけではない。

質問33：仮置き場のことだが、黒い袋が目につれないよう早急に全ての個所に遮蔽壁のようなもので覆ってもらいたい。今後、最終の場所に運搬するルートは、学校周辺道路を避けて通るようにしてもらいたい。

回答33：それは既に、環境省に申し入れております。今日も申し入れておりますが、検討させてくださいとの回答でした。現実的には、我々としてはやらせるという立場で動きます。

質問34：相馬や新地から通う方は、時間的に長い時間バスに揺られて通学している。今後、小高で学校が再開したと仮定した時点で、電車で通学させることは考えているか。

JRも一つの考えとした場合、極端な話、小中学生の児童生徒が専用の使える車両を設けてもらえるような形をJRに伝えて検討を進めてほしい。

回答 3 4 : 調べている限り、小高区の方で新地から 2 名、相馬からは 1 0 名がバスを利用しています。この方々とは、居住状況を確認しながら電車が良いのかも含めて、保護者と一番安全かつ子供に負担がかからない方法を協議しながら、ルートも手段も柔軟に対応出来るように考えています。

質問 3 5 : 学校が再開になった場合、学校給食はどのように考えているか。

回答 3 5 : 小高小学校の給食室を使って、小学生の分と中学生の分は車を使って運びたいと考えております。小高小学校の厨房は、全部廃棄、清掃、消毒をして全て新しいものを揃えるように、予算の確保や作業に入っております。現在も、水道水の検査と丸ごと検査と言いまして、食材全部を 1 キロずつ 1 時間かけて調べて、NDのものだけ使っています。当日、食べたものは、事後丸ごと調査として専門機関に送っています。水は大丈夫ですかと話がありましたが、大丈夫です。2 日に 1 回全て検査をしていて、今まで放射性物質が検出されたことはありません。

質問 3 6 : 今まで色んな意見や要望がありましたが、今後、保護者、子供たち、第三者の方々からの声を、どのように反映させていくのか。

回答 3 6 : 今後、再開するにあたっての判断材料にさせていただきます。意向調査の結果につきましても、皆様にお示しをしながら対応について、再検討の必要があれば、また皆様と話し合いをしながら進めてまいります。教育委員会の方で勝手に決定した内容ではありませんし、皆様の不安等もお聞きしましたので、それらを踏まえて関係者と協議しながら学校の再開については、慎重に対応してまいります。